

今回の訪問先

千葉大学大学院

CHIBA UNIVERSITY 理学研究院 有機合成化学研究室
荒井 孝義 教授

研究テーマ | Subject of Research

医薬に繋がるオンリーワン化合物の テーラード開発

研究内容

21世紀の環境問題を解決し、高度な文明社会を維持・発展させるためには、洗練された「ものをつくる」有機化学の成熟は不可欠です。その一方で、実用的な触媒や効率的な反応の開発など、現代の有機化学に課せられている問題は数多く残っています。有機合成化学研究室では、医薬など人類の役に立つ化合物を創製するために、新規で効率的な有機分子骨格構築法の開発を目標として研究に取り組んでいます。有機触媒による光学活性化合物の創製を目指す 鋤野 哲助教ならびに新規生物活性化合物をもってケミカルバイオロジーを切り開く 飯田 圭介助教とともに、オンリーワンの機能性分子の創製を目指し、日々研究を行なっています。目標は、1つのフラスコのなかで創薬に繋がる新しい分子を作り出す事です。

使用目的

溶液を濃縮するエバポレーター、反応を低温で制御して行なえるマグネチックスターラー付低温恒温水槽をよく使用しています。精密な有機合成実験をするには、欠かす事のできない基本の装置です。

選定理由

安定した性能と実用性を兼ね備えているので学生の頃から、エバポレーターといえば、EYELA製品を使用してきました。安定した性能と実用性を兼ね備えた製品で、高く信頼しています。

使用して

研究室の環境を熟知した製品設計

実際に実験を行なう化学者や大学の研究室の環境を熟知した上での設計だと思います。例えば、縦にスリムなエバポレーターは、狭いドラフトチャンバー内に設置しても十分な可動域をもって快適に用いることができます。

当社に望むこと

日頃からの、手厚いアフターケアに感謝しています。これからも、実験化学者の意見を生かした使い勝手がよくてユニークな製品を開発してください。

使用製品 | DATA

ロータリーエバポレーター
N-1300V-W型
+結露対策カバー
N-1110V-W型

17-18 総合カタログ P.207

15-16 総合カタログ P.254



N-1300V-W

N-1110V-W

マグネチックスターラー付
低温恒温水槽
PSL-1810型

17-18 総合カタログ P.119

15-16 総合カタログ P.94



PSL-1810

